FDR の 4 つの自由と大西洋憲章を復活させよう

アルフレッド・デ・サヤス

カウンターパンチ 2022年9月1日

Let's Revive FDR's Four Freedoms and the Atlantic Charter - CounterPunch.org

現在の米国、英国、EU、NATOの対ロシア・中国政策は、国連憲章の文言と精神、そして近代国際法の基礎となる多くの先行宣言と公約、条約に違反している。

自分たちは例外的な存在だとして一方的な行動に走る欧米の政策は、強硬さと 敵意の雰囲気をあからさまに醸し出して、対話し妥協を模索する理にかなった 主張を、臆病な「宥和」ときめつけ、あるいは反逆にさえ聞こえるようにして いる。

実は、核時代において人類は「宥和」以外に取る道はない。「われわれ人民」 が次の世代に戦争の惨禍を与えることのないような措置を求めたとき、私たち の祖先が国連憲章に描いたのは、この道である。しかし、私たち(米国)の指 導者たちは、膨大な数の核兵器を保有し、運搬手段も持つ2つの核保有国を同時に挑発している。これはきわめて非民主的である。 なぜなら、人々は戦争を望んでおらず、不必要な挑発に同意していないからである。 人々は平和と繁栄を望んでおり、それを享受する権利がある。戦争を望んでいるのは、企業の「エリートたち」であり、軍産金融複合体である。実際、私たちの周りには戦争で儲ける人が多すぎる。

特に気になるのは、プリンストン大学のリチャード・フォーク名誉教授やコロンビア大学のジェフリー・サックス教授、シカゴ大学のジョン・ミアシャイマー教授のような落ち着いた声が、フェイクニュースやプロパガンダによって掻き消されていることである。これらは監視役よりも攻撃犬の役割を好む主流メディアの「物語管理者」によって流されている。

ロシアと中国に対して意図的に高められている緊張は、国連、ILO、WHO、UNESCOの目的と原則に幾重にも違反するものである。 さらに、このようなエスカレーションは、侵略、戦争犯罪、人道に対する罪というローマ規程の違反につながっている。

現在の米国と英国の政権は、フランクリン・D・ルーズベルト(FDR)が 1941年1月6日の一般教書演説で表明し、ウィンストン・チャーチルと共に 1941年8月14日の大西洋憲章で再実現した「4つの自由」と相容れない行動をとっている。

例えば、「スプートニク」や「RT」などロシアの情報源に対しておこなわれている大規模な検閲は、FDR がかかげた第一の自由、すなわち言論の自由を侵害するものだ。 言論の自由は、昨夜 CNN や BBC で聞いたどんなナンセンスな話に限らない。

アメリカによる過酷な制裁政策は、ルーズベルトが宣言した第三の自由と相容れない。「欠乏からの自由、これは現代の言葉に置き換えると、世界のあらゆる場所で、あらゆる国家にその住民のための健全な平時の生活を確保する経済的な取り決めを意味する」。これは、特に食料安全保障、水と衛生設備へのアクセス、手頃に購入できるエネルギー、貿易に従事して航行する自由を意味する。米国、英国、EU による制裁がもたらす明らかな悪影響として、飢饉、絶望、そして死が挙げられる。 ベラルーシ、キューバ、ニカラグア、ロシア、

シリア、ベネズエラなど数十カ国に課された制裁は、すでに数万人の死者を出 し、国際刑事裁判所規程第7条にいう「人道に対する犯罪」を構成している。

米国、英国、EU の政策は、FDR の第 4 の自由、「恐怖からの自由」とも相容 れないものである。 アムネスティ・インターナショナルやヒューマン・ライ ツ・ウォッチのような人権 NGO が、「人権としての平和」に焦点を当てない のは驚くべきことである。 この宣言は 1984 年 11 月 12 日の総会決議 39/11 に基づき、最終的に国連人権理事会の諮問委員会によって採択された平和への 権利に関する決議案[2]となったが、その後平和への権利に関する政府間ワー キンググループで平和への権利など存在せず、いずれにしても人権理事会は間 違った場だと主張した米国、英国、EU 代表によって破裂させられたものであ った。2016 年 12 月 19 日に国連総会が最終的に採択した決議[3]は、国連総 会が 1984 年にすでに認めていたものを大幅に下回るものだった。同様に、国 連軍縮会議におけるあらゆるイニシアチブは、米国、英国、EU、NATO 諸国に よって、まるで「私たちは実は戦争を好むのです」と世界に訴えているかのよ うに、骨抜きにされてきた。 私は国際秩序に関する国連独立専門家として、 人権理事会の作業部会のすべての会議に出席したが、米国、英国、EU の代表

団が行った明らかに間違った議論、つまり、法学部の 1 年生ならすでに「偽法」と認識するであろう議論を聞いて、愕然としたものだ。

「恐怖からの解放」とは、必然的に、どの国も世界のどこの隣人に対しても物理的な侵略行為を行えるような状態にならないよう、世界規模で軍備を徹底的に削減することを意味する。 核拡散防止条約(NPT)第6条は、核兵器を保有するすべての国に対し、核軍縮に向けて誠実に交渉することを義務づけている。 しかし、中国、ロシア、米国、英国、フランス、イスラエル、インド、パキスタンなどの核保有国は、NPT 加盟国であるかどうかにかかわらず、他の人類に恐怖と恐れを押し付けることに固執しているように思われる。

米国、英国、EU、NATOによるロシアと中国に対する制裁政策も同様に、大西洋憲章に定められた原則、すなわち、以下の原則と相容れないものである。

1. 領土調整は、関係する人民の希望に沿うものでなければならない(例えば、ナゴルノ・カラバフ、クリミア、ドンバスでは住民投票によって)。 クリミアの大多数の住民は2014年におこなわれた憲法違反の蜂起の後、 ウクライナに住みたくないと思った。この事実をもし西側諸国のイデオロ ギー的指導者たちが認めないなら、国連に新しい住民投票を組織し監視するよう要請すべきだ。さかのぼって 1994 年 3 月と 6 月に、筆者はウクライナの議会選挙と大統領選挙(を監視する)国連代表を務めたが、クリミアとドンバスの住民は間違いなくロシア語を話し、ロシア人であると感じていた。

- 2. すべての人民は自決権を持っている(例えば、エストニア、ラトビア、エトアニア、スロベニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、コソボしかしナゴルノ・カラバフ、アブハジア、南オセチア、トランスニストリアでも同様だ)。 この自決権は、国連憲章や数え切れないほどの安保理決議、総会決議に盛り込まれている。また、市民的及び政治的権利に関する国際規約、経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約の共通条項1条である。
- 3. 貿易障壁は引き下げなければならない。米国とその同盟国によって課された制裁体制は、本質的に何百万人もの人々にとってのグローバリゼーションの恩恵を破壊し、サプライチェーン、エネルギー源を永久に混乱させ、国際貿易、国内総生産を低下させ、倒産、失業を招いている。
- 4. グローバルな経済協力と社会福祉の向上は、例外ではなく、ルールでなければならない。

- 5. 大西洋憲章を承認したすべての国は、欠乏と恐怖のない世界のために努力 することを約束した。
- 6. すべての国は、HUGO GROTIUS の MARE LIBERUM の意味での海洋の自由を推進することを約束した。
- 7. すべての国は、侵略国の軍縮と、戦後の共通の軍縮に合意した。

第一次世界大戦後の世代にとっての悲劇は、ウッドロウ・ウィルソン大統領の「14項目」に含まれる崇高な原則が、ベルサイユ条約、サンジェルマン条約、トリアノン条約で反故にされ、直接第二次世界大戦につながったことである。「4つの自由」と「大西洋憲章」で宣言された目標が放棄されたことは、第二次世界大戦後の世代にとって悲劇である。 ソビエト連邦後の世代の悲劇は、指導者たちが1989年から91年にかけてのミハイル・ゴルバチョフとの約束を守らず、挑発とNATO拡張主義の道を意図的に選び、その結果、ロシアのウクライナに対する不法な侵略とNATOによる対ロシア代理戦争につながる緊張を、最後のウクライナ人に至るまでもたらしたことである。 わが国の指導者たちは、なぜジョージ・F・ケナン、ジャック・マトロック、リチャード・フォーク、ジェフリー・サックス、ジョン・ミアシャイマー、ヘンリー・キッシンジャーらの助言に耳を傾けなかったのだろうか。

私たちの指導者たちがもたらした混乱から抜け出すためには、橋を架けなければならない。好戦的な人々が逃げ出すためだけでなく、好戦的な人々が互いに話し合うための橋が必要なのだ。

ALFRED DE ZAYAS = ジュネーブ外交学院法学部教授、2012-18 年国際秩序に関する国連独立専門家。著書に「BUILDING A JUST WORLD
ORDER」CLARITY PRESS, 2021 など 10 冊がある。

【翻訳 田中靖宏】

LET'S REVIVE FDR'S FOUR FREEDOMS AND THE ATALANTIC CHARTER
COUNTERPUNCH

BY ALFRED DE ZAYAS

SEPTEMBER 1, 2022

he current US, UK, EU and NATO policies vis à vis Russia and China violate the letter and spirit of the UN Charter as well as many prior declarations and commitments and treaties which are at the basis of modern international law.

Western policies of "exceptionalism" and "unilateralism have fed directly into an atmosphere of intransigence and hostility, which makes reasonable discourse about dialogue and compromise sound like cowardly "appeasement" or even treason.

As it happens, "appeasement" is the only road humanity can take in the nuclear age. It is the road that our ancestors mapped in the UN Charter, when "we the people" demanded measures to spare succeeding generations from the scourge of war. Our leaders, however, are simultaneously provoking two nuclear powers with vast stockpiles of nuclear weapons and means to deliver them. This is highly undemocratic, because people do not want war and do not consent to needless provocation. People want and are entitled to peace and prosperity. It is the corporate "elites", the military-industrial-financial complex who want war. Indeed, there are too many war profiteers around us.

What is particularly preoccupying is that sedate voices like those of emeritus Professor Richard Falk at Princeton, Professor Jeffrey Sachs at Columbia University or Professor John Mearsheimer at the University of

Chicago, are being drowned by the fake news and the propaganda disseminated by "narrative managers" in the mainstream media, who seem to prefer the role of attack dogs over that of watchdogs.

The deliberate escalation of tensions against Russia and China entails multiple violations of the Purposes and Principles of the United Nations, ILO, WHO and UNESCO. Moreover such escalation has led to violations of the Statute of Rome, namely aggression, war crimes and crimes against humanity.

The current US and UK administrations are acting in a manner incompatible with Franklin Delano Roosevelt's "Four Freedoms", expressed in his state of the union address of 6 January 1941, and reenacted, together with Winston Churchill, in the Atlantic Charter of 14 August 1941.

For instance, the massive censorship of Russian information sources including Sputnik and RT, violates FDR's first freedom, namely freedom of speech, which necessarily entails the freedom to access all information, the freedom to know what is relevant so as to develop an opinion, our own judgment, that we can express. Freedom of speech is

not limited to echoing whatever nonsense we heard last night on CNN or BBC.

The draconian US sanctions policy is incompatible with the third freedom declared by Roosevelt - "Freedom from want—which, translated into contemporary terms, means economic understandings which will secure to every nation a healthy peacetime life for its inhabitants—everywhere in the world." This means inter alia food security, access to water and sanitation, affordable energy, freedom to engage in trade and freedom of the seas. Among the obvious adverse impacts of US, UK and EU sanctions are famine, desperation and death. The sanctions imposed on dozens of countries including Belarus, Cuba, Nicaragua, Russia, Syria, Venezuela have already caused tens of thousands of deaths and constitute a crime against humanity within the meaning of article 7 of the Statute of the International Criminal Court.

The US, UK, EU policies are also incompatible with FDR's Fourth

Freedom, "freedom from fear. It is remarkable that human rights ngo's like Amnesty International and Human Rights Watch have not focused

on Peace as a Human Right. This is what the Spanish Association for International Human Rights Law promoted in its "Declaración de Santiago"[1] of 10 December 2010, which built on General Assembly Resolution 39/11 of 12 November 1984 and eventually became the draft Resolution on the Right to Peace[2], adopted by the Advisory Committee of the UN Human Rights Council, subsequently torpedoed by the US, UK and EU delegations who argued in the intergovernmental working group on the right to peace that there was no such thing as a right to peace, and that the HR Council was in any event the wrong venue. The Resolution eventually adopted by the GA on 19 December 2016[3] was significantly less than what the GA had already recognized in 1984. Similarly, every initiative in the UN Conference on Disarmament has been disemboweled by the US, UK, EU and NATO countries, as if they were telling the world: "we actually prefer war". In my capacity as UN Independent Expert on International Order I attended all meetings of the Human Rights Council working group and was appalled to hear the patently wrong arguments made by the US,

UK and EU delegations, arguments that a first year law student would already recognize as "fake law".

"Freedom from fear" necessarily means a world-wide reduction of armaments to such a point and in such a thorough fashion that no nation should be in a position to commit an act of physical aggression against any neighbour—anywhere in the world. Article 6 of the Non Proliferation Treaty commits all States who possess nuclear weapons to negotiate in good faith toward nuclear disarmament. But it seems like the nuclear powers, whether NPT members or not — including China, Russia, US, UK, France, Israel, India, Pakistan, are bent on imposing fear and terror on the rest of humanity.

The US, UK, EU and NATO sanctions policies against Russia and China are similarly incompatible with the principles laid down in the Atlantic Charter, namely:

1. Territorial adjustments must be in accord with the wishes of the peoples concerned (e.g. by referendum in Nagorno Karabakh, Crimea and Donbas). If the ideological leaders of the Western powers refuse to recognize the fact that the vast majority of the Crimean population

does NOT want to live in Ukraine after the unconstitutional 2014 putsch, they should invite the UN to organize and monitor a new referendum. Back in March and June 1994 I was the UN representative for the parliamentary and presidential elections in Ukraine. Without a doubt, the population in Crimea and Donbas speaks and feels Russian). 2. All people have a right of self-determination (e.g. in Estonia, Latvia, Lithuania, Slovenia, Croatia, Bosnia and Herzegovina, Kosovo — but similarly in Nagorno Karabakh, Abkhazia, South Ossetia and Transnistria). This right of self-determination was incorporated into the UN Charter and countless Security Council and General Assembly Resolutions. It is also common article 1 of the International Covenant on Civil and Political Rights and International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights.

3. Trade barriers must be lowered. The sanctions regimes imposed by the US and its allies essentially have destroyed the benefits of globalization for millions of people and permanently dislocated the supply chains, and energy sources, leading to a drop in international trade, gross domestic product, bankruptcies and unemployment.

- 4. Global economic co-operation and advancement of social welfare must be the rule, not the exception.
- 5. All countries who endorsed the Atlantic Charter committed themselves to work for a world free of want and fear.
- All countries committed to advance freedom of the seas in the sense of Hugo Grotius' Mare liberum.
- 7. All countries agreed to the disarmament of aggressor nations and a common disarmament after the war.

It is the tragedy of the post-World War I generations that the noble principles contained in President Woodrow Wilson's 14 Points, were flouted in the Treaties of Versailles, St. Germain and Trianon, leading directly to World War II. It is the tragedy of the post World War II generations that the goals proclaimed in the Four Freedoms and in the Atlantic Charter were abandoned. It is the tragedy of our post-Soviet Union generation that our leaders did not keep their 1989-91 promises to Mikhail Gorbachev and deliberately chose the path of provocation and NATO expansionism, resulting in the tensions leading to Russia's illegal aggression against Ukraine and the proxy war being fought by NATO

against Russia – till the last Ukrainian. Why did our leaders not heed the advice of George F. Kennan, Jack Matlock, Richard Falk, Jeffrey Sachs, John Mearsheimer and Henry Kissinger?

In order to get out of the mess to which our leaders have brought us, bridges must be built — not only for the belligerents to escape, but for the belligerents to talk to each other.